

#WorldSkillsJapan

技能と職業観教育のプラクティスを紹介する不定期特別情報紙

#SkillMe

SKILLS★TIMES

Skill is Magic

【特集】さんフェア新潟2019特別シンポジウム

REPORT

1



REPORT

2



10月26日・27日「第29回全国産業教育フェア新潟大会(さんフェア新潟2019)」
技能五輪国際大会メダリストと、ものつくり大学の赤松学長をお招きし
高校生たちに技能競技大会の魅力を語るシンポジウムを開催しました!

司会者 今年8月にロシア連邦カザンで開催された技能五輪国際大会に日本代表選手として出場された選手のみなさん。世界の舞台で技能を競い合った経験を振り返り、学んだこと、感じたことをお聞かせください。

志水さん 僕が参加した情報ネットワーク施工職種は、日本が7連覇中の競技。プレッシャーは大変なものでしたが、先輩たちや上司に導かれ、世界と渡り合うことができました。金メダルを獲得できたのは、高い技能と熱い気持ちの両方を伝授して頂けた結果だと思います。今度は僕が後進を育成する番だと感じています。

坂元さん 産業機械組立て職種は、前々回大会から始まった新しい競技です。設備のドクターと呼ばれるだけあって、幅広い知識と技能が必要な競技ですが、指導者や会社に支えられ、ガムシャラに訓練しました。金メダルを獲得した時は正直信じられず、かなり興奮しました。今後は次の選手の育成に携わり、人材育成のスペシャリストとしてのスキルを高めていきたいと考えています。

森本さん メカトロニクス職種は、前回大会で日本が金メダルを獲得した競技です。2連覇を目指して挑みましたが結果は銅メダルでした。英語で表記された競技課題の解説が勝敗を分けました。技能者には、技能に加えて、

語学や意思疎通などの能力も求められることを身をもって感じました。今後は新しい技術を学び続け、時代の変化に対応できるスペシャリストを目指したいと思います。

清水さん 移動式ロボット職種は、AIやIoTの発展も追い風になり、年々競技人口が増えています。ライバルも力をつけていて、戦いがシビアになっています。今まで以上に柔軟な思考と、それを形にできる技能の両方が必要になっていると強く感じられた大会になりました。

中西さん 僕たちは、苦戦を強いられて敢闘賞でしたが、次の戦いに向けたヒントもたくさん学びました。後に続く後輩たちに、このタネをきちんと引き継いで、次回の上海大会では世界を驚かせる結果を見せたいと思います。

赤松さん 技能五輪国際大会を通じて世界を知り、己をも見つめたみなさんのお話を聞くと、胸が踊ります。自分で考え、それを形にできる技能者の存在が、未来の社会を豊かにすると私は考えています。会社や教育機関など、人材育成の現場には、こうした人材を育成する好循環が求められています。技能競技大会は、若い技能者の努力目標となり、また同年代のライバル同士の切磋琢磨の場として、他では得がたい経験を彼らに与えてくれています。

SKILL IS MAGIC

10月9日、安城市立安城西中学校(愛知県) / 参加者: 中学2年生

技能五輪国際大会 / 建築大工職種の銀メダリストが講師となって技能の可能性を伝える One School One Skill を開催しました!

今回の講師は、第41回技能五輪国際大会の建築大工職種で銀メダルを獲得した森翔太さんと同業の仲間たち。今年、愛知県で開催される技能五輪全国大会を見学する予定の安城市立安城西中学校にて、生徒たちに技能を仕事にする生き方を選んだきっかけ、仕事仲間やお弟子さんの紹介などを通じて、大工という仕事と技能競技大会の魅力を語り、建築大工の技を実演しました。

その後274名の生徒たち全員が実際に大工の技能を体験。ホゾ加工した木材を組み合わせ、全員で一軒の家を建て始めます。最後には太い柱がしっかりと組み上がり、棟上げをして完成を祝いました。生徒たちは、人の手に宿る高度な技能で、人が暮らす家を作り上げる木造建築の強さとぬくもりを感じ、技能を仕事にすることの魅力と心意気を学びました。

SKILL IS MAGIC

REPORT

3



10月17日、伊勢市立浜郷小学校(三重県) / 参加者: 小学5年生

技能五輪国際大会 / 自動車板金職種の金メダリストが母校を訪問し技能の可能性を伝える One School One Skill を開催しました!

講師は、第35回技能五輪国際大会の自動車板金職種で金メダルを獲得し、国別の最高メダルの最高得点者に贈られる「ベスト・オブ・ネイション」も受賞したトヨタ自動車株式会社の土谷仁志さん、第37回大会の自動車板金職種で金メダルを獲得した同社の小林大輔さん、そして同社の森久和美さん。児童たちに技能競技大会の面白さや、技能を仕事にする生き方の魅力を語り、自動車

板金の技を実演しました。その後72名の児童たち全員がハンマーと木臼を使って鉄板をスプーンに加工。自由に変形する鉄の感触を感じ、児童たちは大はしゃぎ。板金の技能の奥深さを知り、将来の自分の仕事や生き方に思いを馳せる掛け替えのない時間となりました。技能競技大会の選手が学校を訪問する「One School One Skill」は、今後も全国各地で開催予定です。 SKILL IS MAGIC

予告

2019年11月15日~18日(一部先行競技日程を除く)
愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)他にて



天皇陛下御即位記念
第57回 技能五輪全国大会 開催!!

観戦ガイドブックアプリのダウンロードはこちらから! →



競技42職種を解説した「スキルハンドブック」はこちらから!



赤松明さん(ものつくり大学学長)
ものつくり大学は「にゅうものづくり」の探求と実現に向けて、知識・理論と技能・技術を併せ持つ人材=テクノロジストが欠かせません。問題や課題を自ら見出し、その解決方法を考え、実際に手を動かしてそれを形にできる力を養うことは、未来そのものを育んでいることと同義です。ものづくりが、ただ良いものをつくることを超え、社会のためになる良い仕事として昇華されるために、私たち大人は成すべきことを考え、未来の担い手である若者たちのために行動していきます。

ものづくりで社会を支えてほしい

赤松さん 社会が発展し続けるためには、知識と理論に加え、技能と技術を併せ持った人材=テクノロジストが欠かせません。問題や課題を自ら見出し、その解決方法を考え、実際に手を動かしてそれを形にできる力を養うことは、未来そのものを育んでいることと同義です。ものづくりが、ただ良いものをつくることを超え、社会のためになる良い仕事として昇華されるために、私たち大人は成すべきことを考え、未来の担い手である若者たちのために行動していきます。

SKILL IS MAGIC

WorldSkills Competition –
技能五輪国際大会とは、1950年に
スペインの職業青年団が提唱して
国ポルトガルとの間で各12人の選手が技能を競ったこ
とに源を発し、以降、参加国および出場選手が増加。今
では、若い技能労働者の祭典と呼ばれるにふさわしい行
事に発展しました。日本国内でも、技能五輪全国大会、

若年者ものづくり競技大会、技能グランプリといった技
能競技大会が開催されています。各種技能競技大会の詳
しい情報、映像コンテンツ等は公式ウェブサイト及び各
種SNSにてご覧いただけます。

WorldSkills.jp
f in @ o t #WorldSkillsJapan

